学校番号	405

令和2年度　大阪府立堺西高等学校　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	現代保健体育(大修館)			副教材等		現代高等保健体育(大修館)	

1．担当者からのメッセージ(学習方法等)

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取り組みや個人での対応について知る。
・身近な健康問題について興味を持ってもらう。

2．学習の到達目標

・生涯の各段階についての健康課題があり、自らこれに適応する必要があることを理解する。
・我が国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることについて理解する。
・健康や安全に関する社会的な取り組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践出来るようになる。
・環境と健康環境と食品の保持労働にかかわる対策が重要であることについて理解する。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断	c：知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全改題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自ら健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している
評価方法	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング その他の成果物	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング その他の成果物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	単元（題材）の評価基準	評価方法
1学期	生涯を通じる健康	1.思春期と健康 思春期の特徴について体と心の面から理解する。 子どもから大人へ移行する時期で精神的に不安定になる。その不安や悩みへの対処について理解する。		○	○	a:「思春期の体と心の特徴」とは何かについて資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:「思春期の体と心の特徴」について、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c:「思春期の体と心の特徴」は様々な要因の影響を受けながら主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを説明したり、記述したりすることができる。	ワークシート ブレインストーミングの成果物 定期テスト
		2.性意識と性行動の選択 性意識に対する男女の特性を踏まえ異性を尊重する態度の必要性の理解。 性に対する情報等に適切に対処して行動することの必要性を理解する	○		○	a:性意識について調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:男女の性意識の違い、性情報への適切な対処について考え、自身の考えを整理し説明することができ c:性意識や性行動の違い、性に対する情報への適切な対処伴って「思春期の男女の性」について理解し、新たな思春期の性問題について知る。	ワークシート 定期テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	3.結婚生活と健康 健康な結婚生活を送るためには、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを理解する。 家族の生活習慣や住環境が子どもの健康にどのように影響するかについて理解する。	○	○		a:健康な結婚生活を送るための要因を調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:健康な結婚生活について個人、社会での事例などと比較したり分析したりする。また、筋道を立てて説明することができる。 c:健康な結婚生活について理解し、個人の力だけでなく家族の将来の健康にかかわる問題について記述、説明することができる。	ワークシート 定期テスト
		4.妊娠出産と健康 受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について理解する。 妊娠・出産期を健康に過ごすためには、妊婦の心身の状態や日常生活への配慮と、公的サービスの活用が必要であることを理解する。		○	○	a:受胎・妊娠・出産の一連の過程について調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする b:妊娠出産期を健康に過ごすための私的・公的サービスを比較・分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c:妊婦の心身の状態や日常生活への配慮のや公的サービスの例をあげ、理解し、記述、説明できる。	ワークシート 定期テスト
		5.家族計画と人工妊娠中絶 家族計画の意義や方法について、お互いのコミュニケーションの意義や避妊について理解する。 望まない妊娠の結果行われる人工妊娠中絶が女性の心身に与える深刻な影響について理解しそれを避ける判断ができるようになる。	○	○	○	a:家族計画の意義や方法、人工妊娠中絶について資料を探したり、調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする b:家族計画の意義や方法、人工妊娠中絶について比較・分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c:家族計画の意義や方法、人工妊娠中絶について理解し、お互いのコミュニケーションの意義や避妊、人工妊娠中絶について記述、説明することができる。また、自身の考えをまとめることができる。	ワークシート 定期テスト
		6･加齢と健康 加齢にともなう心身の変化を、形態面と機能面から理解す 中高年期を健やかに過ごすためには、日常生活の中で体の機能を積極的に使うことや、健康的な生活習慣や健康管理が重要であることを理解する。	○	○	○	a:加齢に伴う心身の変化について形態面と機能面について調べ、まとめるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:加齢に伴う心身の変化について調べたことを基に、自身の現在と将来の健康問題について比較･分析することができる。 c:中高年を健やかに過ごすため男日常生活の過ごし方や健康管理のしかたについて理解し、健康的な生活習慣や健康管理の方法を説明・記述することができる。	ワークシート 定期テスト
		7.高齢者のための社会的取り組み 高齢社会がさらに進むことが予測されている中で、高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が行われていることを理解する。 介護が必要になった場合のリハビリテーションの必要性やすべての人が暮らしやすい社会づくりについても考察する。		○	○	a:高齢化社会がさらに進む中、高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策について調べ、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:高齢化社会がさらに進む中、高齢者の心身の健康を支援するために、社会的対策や自身の取り組みについて分析することができる。 c:喫煙者やその周囲の人に起こる健康被害について理解し、日本や世界各国における喫煙対策について例を上げ、説明することができる。	ワークシート ディスカッション等 定期テスト
2学期	生涯を通じる健康	8.保健制度とその活用 保健制度は、個人や環境の健康を直接的にあるいは間接的に支援するためにおものである 地域におけるさまざまな保健制度と保健サービスの内容や保健に関する情報を理解し、必要な時には積極的に活用することを学ぶ。		○	○	a:保健制度は個人や環境の健康や体にどのような影響を及ぼすか、またその健康影響について調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:様々な保健制度について設定された課題に対して自身の考えや課題解決策を導き出すことができる。 c地域による様々な保健制度について理解し、保健制度の例を挙げるなどの説明及び記述ができる。	ワークシート 課題学習の成果物等 定期テスト
		9.医療制度とその活用 さまざまな医療機関の活動内容を理解し、その利用に当たり医療費がはらわれる仕組みを学ぶ。 [illegible]し、自己の健康管理に応じた適切な医療機関の選択と医療サービスを活用することを学ぶ。	○	○	○	a:医療制度について資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:かかりつけ医の役割及び自己の健康管理について知り、自身でできる健康管理への対策について考え、発表することができる。 c:医療機関やかかりつけ医の役割について理解し、シ雲や医療サービスの活用について説明、記述することができる。	ワークシート ロールプレイングによる判別発表等 定期テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c		
2学期	生涯を通じる健康	10.医薬品と健康 医薬品の正しい使い方やさまざまな仕組みを理解していく。 医薬品の有効性や安全性がどのように認められてるのか、医薬品にかかわる社会的な側面を知る。	○		○	a:医薬品の正しい使い方やさまざまなしくみについて調べたり、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。 b:医薬品の有効性や安全性がどのように認められているのか、どのような安全対策が必要か考えることができる。 c:医薬品の正しい使い方について例をあげて説明したり、有効性や安全性への社会的な対策について、記述・説明できる	ワークシート 定期テスト 課題学習の成果等
		11.様々な保健活動や対策 環境の改善や、一人ひとりの健康づくりを支援する様々な保健活動や対策が不可欠であることを理解する。 日本や世界において、どのような保健活動や対策が行われているかを理解する。		○	○	a:環境の改善や一人ひとりの健康作りについて課題の解決に向けての調べものや、意見交換・話合いなどの学習活動に取り組もうとする。 b:日本や世界においての保健活動のを知り、支援についてや対策がどのようになされているのかを考え、意見交換することができる。 c:環境の改善や保健活動や対策への取組について理解し、説明や記述することができる。	ワークシート 定期テスト
	社会生活と健康	1.大気汚染と健康 大気汚染の汚染源と汚染物質それによる健康被害のかつてとこんにちについて理解する。 私たち自身の生活の在り方や行動が環境対策技術の向上や規制の強化に繋がっていること、さらに地球規模で発生する大気汚染についても理解する。		○	○	a:大気汚染の汚染源と汚染物質について調べたり、健康被害の実態を知り記述するなどの学習活動に取り組もうとする b:大気汚染の汚染源と汚染物質について理解し、自身の生活の在り方や行動が環境対策技術の向上や規制の強化にどのように繋がっているか考えることができる。 c:私たち自身の生活の在り方や行動が環境対策技術の向上や規制の強化に繋がっていることを理解し、例をあげて説明、記述することができる。	ワークシート 調べ学習 定期テスト
		2.水質汚濁土壌汚染と健康 かつて甚大な被害をもたらした産業排水による水質汚濁、今日の生活排水による水質汚濁の実態とその対策について理解させる。 広範囲にわたつて長期被害や健康被害をもたらしたこと、不適切な管理による汚染物質の漏出により地下水の汚染を引き起こしていることを理解する 大気・水質・土壌汚染3領域にわたるものであること、汚染範囲の広さや影響の長期性などの重大問題をはらんでいることを理解する。	○		○	a:産業排水における水質汚濁ついて考え、今日の生活排水における水質汚濁の実態について調べたりする学習活動に取り組もうとする。 b:かつての産業排水と現在の生活排水について考え、汚染範囲の広さや影響の長期性について自身の考えを発表したり整理したりすることができる。 c大気・水質・土壌汚染3領域にわたるものであること、汚染範囲の広さや影響の長期性などの重大問題について社会的要因と物理的要因について説明・記述することができる。	ワークシート 調べ学習 定期テスト
		3.健康被害の防止と環境対策 環境汚染の防止・改善への対策には多段階性や多元性が求められることを理解する。 汚染状態の監視、改善策の実施、被害者への補償が同時に進められ、また対策は現在から将来にわたる汚染防止を視野に入れる必要があること理解する。		○	○	a:環境汚染の防止と健康被害への対処について、調べたり、自身の実生活をふまえて考えたりする学習活動に取り組もうとする。 b:汚染状態の監視、改善策の実施、被害者への補償に対するさまざまな対策について調べ、将来にわたる汚染防止について考えることができる。 c汚染状態の監視、改善策の実施、被害者への補償の例をあげることができ、現在から将来にわたる汚染防止について、記述することができる。	ワークシート 調べ学習 定期テスト
		4.環境衛生活動のしくみと働き 健康的な日常生活をおくるうえで、ごみやし尿を衛生的に処理したり、上下水道を整備したりすることは不可欠である。 ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みと働きを理解し、それらの問題点や対策を理解する。		○	○	aごみやし尿を衛生的に処理したり、上下水道を整備したりすることについて資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みと働きや問題点、対策を理解し、それらを踏まえ調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりすることができる。 c:ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みと働きを知り、それらの問題点や対策がについて理解し、記述することができる。	ワークシート 調べ学習 定期テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c		
3学期	社会生活と健康	5、食品衛生活動のしくみと働き 食品の安全を守るために、行政や生産者、製造者が果たさなければならない役割について考える。 生産者や製造・加工の現場から保存・流通・販売における基準などの遵守、遵守状況における行政による監視について知る。	○		○	a:食品の安全を守るために、行政や生産者、製造者が果たさなければならない役割について資料を調べたり、まとめたりする学習活動に取り組もうとする。 b:食品の安全について、製造・加工の現場から保存・流通・販売における基準などの遵守、行政による監視について知り、事例などを比較・分析して説明することができる。 c:食品の安全を守るために、生産者、製造者が果たさなければならない役割や、保存・流通・販売における基準、行政による監視について理解し、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果等 ディスカッション等の事例を用いた活動 定期テスト
		6、食品の環境の保健と私たち 私たち消費者が、安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について考える。 環境予防対策として、ごみの減量化、廃棄の際には3Rを意識するなど循環型社会の推進が求められていることを理解する。		○	○	a:私たち消費者が、安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について考え、調べ、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。 b:私たち消費者が、環境を汚染しないために取り組むべき対策として、ごみの減量化、廃棄の際には3Rを意識する、など循環型社会の推進についてどのような行動をとるか考え、話し合うことができる。 c環境予防対策として、廃棄の際に3Rを意識するなど循環型社会の推進が求められていることを理解する。応急手当の意義、重要性について理解し、説明、記述することができる。	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 定期テスト 課題学習の成果
3学期	社会生活と健康	7、働くことと健康 働くことは人生において大変重要な意味を持つ一方で、働くことが原因で健康を損なうことがあるということを理解する。 働き方の多様化による肉体労働からデスクワークへ、国際化や夜間勤務の増加、在宅勤務や社外勤務の増加について理解する。	○		○	a:働くことが重要な意味を持つ一方、働くことが原因で健康を損なうことがあるということを理解し、その注意点を考えるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:肉体労働からデスクワークへ、国際化や夜間勤務の増加、在宅勤務や社外勤務の増加について理解し、互いに話し合うことができる。 c働き方の多様化や、働くことが原因で健康を損なうことがあることの増加について理解し、実践したり、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果 定期テスト
		8、労働災害と健康 労働災害、職業病とは何か、ということを理解した上で、労働中の事故とその対策職業病とその対策について学ぶ。 労働災害を防ぐためには、作業環境の整備、安全管理、健康診断の重要性を知る。また安全な職場づくりに積極的取り組むことが大切であることを理解する。	○		○	a労働災害、職業病とは何かを理解し、労働中の事故とその対策職業病とその対策について調べたり、考えたりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:労働災害や職業病を防ぐために、労働中の事故とその対策職業病とその対策について調べ、まとめたり、説明したりすることができる c:労働災害や職業病を防ぐため、作業環境の整備、安全管理、健康診断の重要性を知る。また安全な職場づくりに積極的取り組むことが大切であることを理解し、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果 定期テスト
		9、健康的な職業生活 職場の健康増進活動として健康づくり支援が行われ、心と体の健康づくりや働きやすい職場作りが展開されていることを学ぶ。 余暇の確保と活用、働く人自身の生活を豊かにしていくことの為には本人の積極的な姿勢とともに、職場全体の配慮や体制作りが必要なことを理解する。		○	○	a:職場の健康増進活動として健康づくり支援や、心と体の健康づくりや働きやすい職場作りの展開、注意点を考えるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:余暇の確保と活用、働く人自身の生活を豊かにしていく為の積極的な姿勢、職場全体の配慮や体制作りが必要なことを理解し、互いに教え合い活動ができる。 c職場の健康づくり支援、働きやすい職場作りの展開について、:余暇の確保と活用、働く人生活を豊かする為の本人の積極的な姿勢や職場全体の配慮や体制作りを理解し、実践したり、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果 定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。